

○高温による被害と産地毎の取組事例

都道府県	露地・施設	原因	症状	対策	普及状況	指導体制	問合せ先
岩手県	露地	・生育期間中の高温 ※日焼け果:果肉内温度が50℃以上20～30分間で発生 (7月～9月頃)	・日焼け果、赤果、受精不良(奇形果、石果)  ・尻腐果	・品質低下の抑制に向けた整枝管理(露地) ・天候や指標に基づくかん水・施肥管理 ・遮熱・遮光(塗布型資材・被覆資材)等の実施(ハウス)	・県では、被害防止に向け、指導者を対象とした技術対策会議の開催や農業者を対象とした農作物技術情報の発行し、対策技術を広く周知 ・各JAは各地域の指導会や個別巡回等による指導により生産者へ普及	・各JAと普及センターが連携し、高温対策の実証試験等を実施し、各品目の生産部会等で情報共有	岩手県農林水産部 農産園芸課 TEL:019-629-5709
	施設	・生育期間中の高温 ※日焼け果:果肉内温度が50℃以上20～30分間で発生 (7月～9月頃)	・日焼け果、赤果、受精不良(奇形果、石果) ・尻腐果	・遮熱・遮光(塗布型資材・被覆資材)等の実施(ハウス) ・かん水指標にもとづくかん水 	・県では、被害防止に向け、指導者を対象とした技術対策会議の開催や農業者を対象とした農作物技術情報の発行し、対策技術を広く周知 ・各JAは各地域の指導会や個別巡回等による指導により生産者へ普及 	各JAと普及センターが連携し、高温対策の実証試験等を実施し、各品目の生産部会等で情報共有	
長野県	施設	生育期間(7～10月)の高温・乾燥 (6月下旬～10月上旬収穫)	赤果の多発	ハウス内気温の上昇抑制方法の検討(遮熱資材(塗布や展張)、細霧冷房の活用)	JA、県普及所が連携して対策に向けた検討を実施中。	JA、県普及所が連携して対策に向けた検討を実施中。	長野県農政部 園芸畜産課 TEL:026-235-7228
兵庫県	露地	収穫期(7月～8月)の高温、干ばつ	樹勢の低下、受精不良による落花や変形果、赤果等による収量減	・日射制御型の拍動灌水装置の導入	・設置ほ場での1本当たりの収量が未設置のほ場より約5割多く、秀品率も高い傾向。 ・貯水タンクに肥料を入れることで施肥もできるため、肥料散布の肉体的、時間的労力が省くことができた。	JA全農が運営する産地直送通販サイトにて生産者を応援するプロジェクトを実施。売り上げに応じて灌水装置の導入資金として寄付。	兵庫県農林水産部 農産園芸課 TEL:078-362-4013
鹿児島県	施設	育苗～生育初期(8月～10月)の高温	・定植期の高温による活着不良 ・草勢低下 	・定植時期を後ろ倒し ・少量多回数かん水の実施 	・県、JA等で栽培指導や栽培指導通知を发出。	・県域のピーマン専門部会等において、高温対策への情報共有が図られている。	鹿児島県農政部 農産園芸課 TEL:099-286-3181